

毎週木曜日は年長組・年中組で「英会話教室」を実施！～今回は、年中組の活動の様子をお伝えします～ 7/8(木)

7月8日(木)、本園の遊戯室において「英会話教室」を実施しました。今年度も昨年同様、週1回(木曜日)に、年中・年長組で30分間ずつ実施することにしました。現在、小学校では新しい教育課程になり、英語教育が始まっています。それに合わせ、本園でも「子どもたちが集中して取り組める、そして小学校での英語教育につながるカリキュラムを実施している」英会話スクールで「教室」を実施することにしています。



10時になり、年中「あさがお組」の園児たちが自分の椅子を持って遊戯室に集まりました。すると、2人の先生(アメリカのジョー先生と日本人のゆか先生)が「ハロー」と言いながら、にこやかに子ども達を出迎えてくれます。先生方の前に椅子を置くと、いよいよ始まりです。

まずは、「hello」などの挨拶と、ジョー先生の仕種を真似て手を上げたり(ハズ アップ)ジャンプをしたりして、子ども達の興味を先生の方に向ける歌「グッドモーニング」を一緒に歌い、場の雰囲気盛り上げていきます。子ども達も実に楽しそうです。

次に、「1～20」までの数字を英語で言う練習をしました。その後は「ゲームタイム」です。子ども達が一番苦手とする「11～15」までの数字が書いてあるカード床に並べました。次に、ジョー先生がビー玉の入っている缶を振り、「中に何個入っているか当ててみましょう。」と言います。そして、自分が思った数が書いてあるカードの所に並びます。「缶の音」だけを聞いて数を当てるので大変です。カードの前に並び終わると、先生が缶の中のビー玉の数を数えます。「サーティーン！」というジョー先生の声。13のカードの列に並んだ子ども達が当たりです。思わず「やったー」の声が。



次は「野菜の名前」を英語で言います。何人かの子はカードの絵を見て、「キャロット」「オニオン」などと答えられたのでビックリしました。その後、「Do you like ○○?」「Yes I do」「No I don't」の練習です。先生が「Do you like eggplant(なす)」と聞き、好きな子は○のカードの所に、嫌いな子は×のカードの所に並びます。そして、「Yes I do」「No I don't」を言います。ゲームを通じて、自然と英語が頭の中に入ってくると感じました。

次は、丸い赤の大きなカードを出し、「ビック」と先生が繰り返します。次に小さなカードを出し、「スモール」と言います。そして、床に置いた大小2種類のカードから「先生が言った(ビックかスモール)方のカード選び、そこへ行き指をさすというゲームをしました。4～5人のグループに分かれて行いました。体を使って、「大きい」「小さい」を自然と覚えるような工夫がされていると思いました。

ジョー先生の大きな声、そして表情豊かでオーバーなアクションが子どもたちを引きつけます。また、ゆか先生は子どもたちの様子を見て「より分かりやすくするため」に、ジョー先生のフォローに入ります。元気いっぱいのジョー先生と、優しく教え上手のゆか先生。呼吸もぴったりです。

最後に、「フォニックス」でゲームをしました。フォニックス(Phonics)とは英語圏の幼稚園・小学校などで広く使われている学習方法で、文字(つづり字)と音を結びつけてルール化し、正しい読み方を学び学習法です。Aは「エイ」・(ア)、Bは「ビー」・(ブ)、Cは「スィー」・(ク)と、()のような読み方を学びます。これを覚えれば、日本人が苦手とされる「正しい発音」が身につくと感じました。

30分という短い時間の中で、体を動かしたり、クイズ形式だったりと変化に富んだ活動だったため、子ども達は集中して取り組んでいました。

【写真】(上3段=あさがお組)、(下3段=ひまわり組) 活動の始めは、ジョー先生の真似をして手を挙げたり頭に手をやったり。リラックスしたムードを作り出していました。次に、目隠しをしている間に、ジョー先生が缶の中に入れたビー玉の数を当てるクイズをしました。正解の列に並んだ子は大喜びでした。ビックとスモールのカードの所へ行くゲームも盛り上がりました。活動中の真剣な表情！幼稚園生とは思えない真剣さです！「何事にも一生懸命！」が一番です。